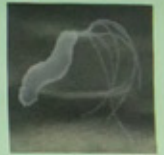


ピロリ菌(ヘリコバクター・ピロリ)

・ピロリ菌とは？

・ピロリ菌は胃の粘膜に生息しているらせんの形をした細菌です

・ヘリコバクターの「ヘリコ」はらせん形(ヘリコイド heli co id)から命名され、一方の端に鞭毛と呼ばれる毛が4~8本付いていて活発に運動することができます。胃には強い酸(胃酸)があるため昔から細菌はいないと考えられていましたが、さまざまな研究からピロリ菌が胃炎や胃潰瘍などの胃の病気に深くかかわっていることが明らかにされてきました



・どうして胃の中で生きていけるの？

・胃には強い酸(胃酸)があるため通常の菌は生息できませんが、ピロリ菌は「ウレアーゼ」という酵素をもっていてこの酵素を利用し、ピロリ菌の周辺をアルカリ性の環境にすることができ、胃酸を中和することによって身を守るのです

・ピロリ菌はどんな病気を起こすの？

・ピロリ菌に感染すると胃に炎症を起こすことが確認されていて、ほとんどの人は症状を自覚しません。感染による炎症が続くとヘリコバクターピロリ感染胃炎になり、長い期間炎症が続くと萎縮性胃炎になり、さらに進むと胃の粘膜は腸の粘膜のようになり、その後一部の人には胃がんになることもあるそうです

・胃潰瘍・十二指腸潰瘍の人はピロリ菌に感染していることが多いそうです(約90%)

・慢性胃炎・胃潰瘍・十二指腸潰瘍の人がピロリ菌に感染している場合除菌療法で完全ではありませんが再発が抑制されるそうです

気になる方は医師に相談して下さい

参考資料

ピロリ菌除菌療法を受ける患者さんのためのQ&Aより